

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社飯田工務店
所在地	福岡市博多区空港前 5 丁目 5 番 5 号
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	建設業
電話番号	092-626-3237
ホームページ	https://iida-koumuten.co.jp

Well-being 向上 に向けた取組み	従業員の働き方の選択肢を設けるため、テレワークを導入し、実施しています。 勤怠管理システムにより、所属長による適正労働の把握・繁忙現場への応援指導・休暇の推奨およびトップ層の承認に取り組んでいます。 経営理念および企業精神の中に根付いている「動態連続生命観」を大事に、「地域貢献」「共生共益」「人間性向上」を命題として掲げています。我社の行動指針となっています。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																		
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・ふくおか女性活躍NEXT企業に登録し、女性もキャリアアップできる環境を整えている。既に候補あり。 ・65才定年後も働ける環境を整えており、現在70才継続雇用中で更に72才までの継続要望を請ける予定。							○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・テレワーク・短時間勤務の実施やフレックスタイム制・時差出勤制の導入等、柔軟な勤務形態を実現。 ・育児介護と仕事の両立を支援する制度を導入。福岡県の子育て応援宣言を取得し、相談しやすく働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。									○	○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・全社員の業務日報を随時誰でも閲覧可能にしており、指示命令や業務負荷を検証可能にしている。 ・人権啓発セミナーを毎年受講し、社内共有している。							○		○	○								○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・勤怠システムにより、勤務実態の把握・繁忙現場の応援体制構築・休暇の推奨に取り組んでいる(所属長が日々確認し、経営層が最終承認している)。 ・全社員と扶養家族の健康診断を実施後、結果による改善・治療を見届けている。							○	○		○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・勤務しながらの資格学校学習を推奨し、その費用は会社負担ないしは補助している。 ・新卒の2か年社員育成計画を作成しており、既存全階層でフォローできる体制を整えている。 ・地域中学校3校の職場体験を、長く受け入れている。								○	○	○									
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している(エコアクション基準定着)。 ・現場産業廃棄物は、建設廃棄物処理委託契約書およびマニフェスト伝票により適法管理を実施、継続。							○		○			○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クール/ウォームビズによる冷暖房の使用制御など、エネルギーの効率的な利用を行っている(エコアクション基準定着)。 ・社用車はハイブリッド車へ順次切替を行っている(普通車8台はすべてハイブリッドへ切替済)。										○			○	○					
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・毎朝、地域清掃を実施。地域保全に努めている(清掃に止まらず、排水溝や側溝の汚泥除去なども実施)。 ・記録・文書の電子化推進(記憶サーバー増設)。 ・紙・プラスチック・アルミ・缶ビンの再資源化に努めている(記録している)。								○					○	○	○	○			
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけや、張り紙等で具体的化して掲示し、節水に努めている(エコアクション基準定着)。								○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・施主側の検査のみならず、各種社内検査・自主(協力会社)検査を行い品質確保と向上に努めている。 ・建物引渡後も、定期的に任意検査を行っており、一定の評価を得ている。							○					○							
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・住宅空室の現状把握や区分所有の課題に、学ぶ・聞く・提案する仕組みを新業態と位置づけ、投資している。某大学教授と協働して取り組んでいる。 ・自社だけでなく協力会社含めた企業群として、月1回の勉強会を実施し、意識と取組改善を図っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・特定個人情報取扱規程を策定し合法管理できている。 ・書類の保管期間を設け、処分の際は専門業者に委託又は裁断機で処分している。																		○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令、施行令、施行規則の改訂をタイムリーに拾える仕組み構築済(R6-7年施行の「育児介護、高齢者雇用、建築省エネ、労働安全衛生規則など」の今年度改訂には対応済)。																		○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・明文化された経営理念を毎朝朝礼で唱和している。 → 経営理念に沿った中期経営計画を策定 → 単年度目標は、期首全社員参加の場で共有 → 月間目標は、全社員日報に常時掲載 → 日々実践を、業務日報等で確認											○	○						○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・BCPIは未策定。ただしBIA考慮した資金政策は構築(現状無借金)済。業界特性を活かしBCP等対策は、随時構築可能。 ・2代目以降、12～15年で継承する流れを作っており、現状4～5代目への継承ゾーンに入っている(現行78期。79期総会で継承の見込)。													○	○	○				○